

「NO WAR 杉並」はみなさんへ呼びかけます

2014年11月15日

選挙に行ってもなにも変わらない。政治なんか変わらない。そんな悲しい声が聞かれる世の中です。

安倍政権は、集団的自衛権を閣議決定し、さまざま法を整備することで、戦争への道を突き進もうとしています。総理は「日本が戦争に巻き込まれるおそれは一層なくなっていく」と主張しますが、私たち「NO WAR 杉並」はそうは思いません。自衛隊が世界に出かけていくだけでなく、地方自治体の役割や、メディア・交通・医療・流通など、日々の暮らしにつながるさまざまなことが変わる怖れを感じています。

杉並区には、「平和都市宣言」があります。

そこには、「世界の恒久平和は人類共通の願いである。いま、私たちの手にある平和ゆえの幸せを永久に希求し、次の世代に伝えよう…」と書かれています。

60年前ビキニ事件を受けて、杉並区ではどこよりも早く、区民が核実験反対の署名運動を立ち上げ、世界にその輪を広げました。その誇らしい歴史が、平和都市宣言に結実しているのです。

そして今…。戦争によってひとを殺し、殺されることを許してはなりません。ふたたび戦争する国になってはいけません。

そのために、私たちの切なる願いが区政に反映されるよう、区議会議員のみなさんへの働きかけを始めていきます。来年4月の統一地方選挙で、戦争へ導く議員がひとりでも少ない区議会になるよう、具体的な投票行動につながるアクションをおこなっていきます。その上で、将来的には、「集団的自衛権に反対する区議会の意見書」の採択や、杉並区独自の「平和条例」などの制定につながればよいと考えています。

「NO WAR 杉並」は、「戦争はイヤだ！」という思いをいただく人々の、党派を超えたゆるやかなネットワークです。ひとりひとりの力は小さいけれど、無力ではありません。手をつなぐことで、日本の政治をよりよきものに変えることができると信じます。

どうかみなさん、「NO WAR 杉並」に参加し一緒になって、平和な世界を、この杉並からつくっていきませんか。

NO WAR 杉並 一同

<http://nowarsgnjimdo.com/>